



平成26年3月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成25年7月26日

上場取引所 名

上場会社名 三谷産業株式会社

コード番号 8285 URL <http://www.mitani.co.jp/>

代表者 (役職名) 代表取締役社長

(氏名) 饗庭 達也

問合せ先責任者 (役職名) 取締役 財務担当

(氏名) 梶谷 忠博

TEL 076-233-2151

四半期報告書提出予定日 平成25年8月8日

配当支払開始予定日 —

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成26年3月期第1四半期の連結業績(平成25年4月1日～平成25年6月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
26年3月期第1四半期	13,526	1.1	△273	—	△138	—	△252	—
25年3月期第1四半期	13,383	10.6	△383	—	△299	—	△616	—

(注) 包括利益 26年3月期第1四半期 △149百万円 (—%) 25年3月期第1四半期 △711百万円 (—%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
26年3月期第1四半期	△4.60	—
25年3月期第1四半期	△11.21	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
26年3月期第1四半期	49,897	20,838	40.3	365.30
25年3月期	50,198	21,159	40.6	371.02

(参考) 自己資本 26年3月期第1四半期 20,088百万円 25年3月期 20,403百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
25年3月期	—	3.00	—	3.00	6.00
26年3月期	—	—	—	—	—
26年3月期(予想)	—	3.00	—	3.00	6.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成26年3月期の連結業績予想(平成25年4月1日～平成26年3月31日)

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期(累計)	29,300	△0.8	300	71.6	390	150.7	△60	—	△1.09
通期	66,500	4.7	1,490	30.8	1,680	52.3	750	509.2	13.64

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無
新規 一社 (社名) 、 除外 一社 (社名)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 有

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	26年3月期1Q	55,176,000 株	25年3月期	55,176,000 株
② 期末自己株式数	26年3月期1Q	183,318 株	25年3月期	181,643 株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	26年3月期1Q	54,993,464 株	25年3月期1Q	54,999,303 株

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期連結財務諸表に対するレビュー手続は終了していません。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. サマリー情報（注記事項）に関する事項	3
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	3
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	3
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	3
3. 継続企業の前提に関する重要事象等	3
4. 四半期連結財務諸表	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	
第1四半期連結累計期間	6
四半期連結包括利益計算書	
第1四半期連結累計期間	7
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(セグメント情報等)	8
5. 補足情報	10
(1) 受注及び販売の状況	10

1. 当四半期決算に関する定性的情報

（1）経営成績に関する説明

当第1四半期の当社グループの売上高は135億26百万円（前年同期比1.1%増）、営業損失は2億73百万円（前年同期の営業損失は3億83百万円）、経常損失は1億38百万円（前年同期の経常損失は2億99百万円）、第1四半期純損失は2億52百万円（前年同期の純損失は6億16百万円）となりました。

売上高の増収要因は以下の通りです。

- ①樹脂・エレクトロニクス関連事業は、自動車部品分野での新型車種向け金型・樹脂成形品が順調に増加しました（3億49百万円の増加）。
- ②住宅設備機器関連事業は、施工管理の徹底により計画通り順調に完工・引き渡しができ増加しました（2億65百万円の増加）。
- ③情報システム関連事業は、電子デバイス部品関連の案件が伸長し増加しました（2億39百万円の増加）。

一方、

- ④空調設備工事関連事業は、当第1四半期において工事進行基準による売上計上に寄与する案件が少なかったため減少しました（6億97百万円の減少）。

営業損益および経常損益の赤字幅縮小要因は以下の通りです。

- ①樹脂・エレクトロニクス関連事業は、売上増および生産効率の改善に伴い売上総利益が増加しました（1億51百万円の増加）。
- ②住宅設備機器関連事業は、施工管理の徹底による効率化により原価圧縮が進み売上総利益が増加しました（1億96百万円の増加）。

一方、

- ③化学品関連事業は、ジェネリック医薬品向け原体製造事業での売上減に伴い売上総利益が減少しました（83百万円の減少）。
- ④空調設備工事関連事業は、売上減に伴い売上総利益が減少しました（1億25百万円の減少）。

これらにより、第1四半期純損益は、経常損失の減少に加え、前年同期に発生した投資有価証券評価損が当第1四半期には発生しなかったことから赤字幅が減少しました。

<セグメントの状況>

当連結会計年度における営業損益予想の大きいセグメント順に記載します。

〔化学品関連事業〕

国内の化成品事業の売上高は、基礎化学品が新規ビジネスの立ち上がりにより増加し、大手電子部品メーカー向け機器設備販売も増加したことから、全体では増加しました。

医薬品向け原体製造事業については、新規に大型の自社製品を受注しましたが、売上計上が当第2四半期以降になることから売上高は減少しました。

ベトナム事業の売上高は、北部において、化成品の新規顧客の製造設備稼働に伴い増加しました。

以上により、全体の売上高は前年同期比1.8%減の72億22百万円とほぼ前年同期並みとなったものの、営業利益は、医薬品向け原体製造事業での売上減に伴う売上総利益の減少ならびにベトナムも含めた将来の事業拡大に向けた基盤構築や人員増強等の先行投資による経費増を主要因に前年同期比41.0%減の2億24百万円となりました。

〔情報システム関連事業〕

受注高は、主に当第2四半期の売上計上となる主力のシステムインテグレーション案件およびPOWER EGG®案件の受注がほぼ計画通り進捗し、前年同期比43.7%増の20億36百万円となりました。売上高は電子デバイス部品関連の案件が伸長し前年同期比21.4%増の13億60百万円となり、営業損益は68百万円の営業損失と前年同期に比べ損失額が減少しました（前年同期の営業損失は77百万円）。

〔空調設備工事関連事業〕

受注高は、リニューアル工事案件について前年同期並みの受注を確保でき、さらに首都圏で初めて医療機関の案件を受注したことなどが寄与し、前年同期比14.3%増の20億28百万円となりました。売上高は、当第1四半期において、工事進行基準による売上計上に寄与する案件が少なかったため前年同期比35.0%減の12億94百万円、営業損益は1億4百万円の営業損失となりました（前年同期の営業損失は2百万円）。

〔エネルギー関連事業〕

売上高は、産業用燃料の販売数量増に加えて民生用LPGについても前年同期並みの販売数量を確保し、販売単価も前年同期に比べ強含みに推移したことから前年同期比5.1%増の16億41百万円となりました。営業利益は、単位当たりの利益確保に努めた結果、前年同期比10.6%増の92百万円となりました。

〔樹脂・エレクトロニクス関連事業〕

樹脂成形品事業は、主力の自動車部品分野について、前年度下半期より量産を開始した新型車種向け樹脂成形品の生産量が順調に拡大し売上高が増加しました。

金型事業は、受注高はほぼ計画通り進捗し、売上高についても製造・引き渡しは順調に行えたことから増加しました。

全体の売上高は、前年同期比78.3%増の7億96百万円、営業利益は39百万円となりました（前年同期は営業損失68百万円）。

〔住宅設備機器関連事業〕

受注高は、首都圏および北陸地区ともにほぼ計画通り進捗し、前年同期比10.6%増の25億79百万円となりました。売上高は、首都圏において、施工管理の徹底により計画通り順調な完工・引き渡しが行えたことから前年同期比24.1%増の13億69百万円となりました。営業損益は、施工管理の効率化による原価圧縮が進み、1億72百万円の営業損失と前年同期に比べ損失額が減少しました（前年同期の営業損失は3億61百万円）。

(2) 財政状態に関する説明

当第1四半期連結会計期間末の総資産残高は、498億97百万円となり、前連結会計年度末に比べ3億1百万円減少しました。主な要因は、受取手形及び売掛金16億38百万円の減少、完成工事未収入金9億6百万円の減少、仕掛品11億52百万円の増加、建物及び構築物3億33百万円の増加、有形固定資産のその他に含まれる建設仮勘定6億53百万円の増加です。

負債残高は、290億58百万円となり、前連結会計年度末に比べ19百万円増加しました。主な要因は、工事未払金2億31百万円の減少、短期借入金3億61百万円の増加、未払法人税等2億30百万円の減少、流動負債のその他に含まれる前受金5億54百万円の増加です。

純資産残高は、208億38百万円となり、前連結会計年度末に比べ3億21百万円減少しました。

これらの結果、連結ベースの自己資本比率は、前連結会計年度末の40.6%から40.3%となり、1株当たりの純資産額は、前連結会計年度末の371円2銭から365円30銭に減少しました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

平成25年5月8日に発表しました連結業績予想から修正は行っていません。

2. サマリー情報（注記事項）に関する事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

該当事項はありません。

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

税金費用については、当第1四半期連結会計期間を含む連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算しています。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

該当事項はありません。

3. 継続企業の前提に関する重要事象等

該当事項はありません。

4. 四半期連結財務諸表
 (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成25年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (平成25年6月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	4,448	4,178
受取手形及び売掛金	16,913	15,274
完成工事未収入金	3,174	2,267
商品及び製品	996	1,149
仕掛品	1,815	2,968
未成工事支出金	19	42
原材料及び貯蔵品	578	545
その他	1,090	1,210
貸倒引当金	△4	△4
流動資産合計	29,032	27,633
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	4,912	5,245
土地	3,977	3,982
その他（純額）	1,756	2,390
有形固定資産合計	10,646	11,619
無形固定資産		
ソフトウェア	501	481
その他	543	562
無形固定資産合計	1,045	1,043
投資その他の資産		
投資有価証券	8,193	8,310
その他	1,287	1,300
貸倒引当金	△7	△9
投資その他の資産合計	9,473	9,601
固定資産合計	21,165	22,264
資産合計	50,198	49,897

（単位：百万円）

	前連結会計年度 (平成25年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (平成25年6月30日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	10,757	10,706
工事未払金	1,147	916
短期借入金	10,025	10,386
未払法人税等	379	148
役員賞与引当金	36	5
受注損失引当金	68	62
完成工事補償引当金	37	31
その他	2,938	3,204
流動負債合計	25,391	25,462
固定負債		
長期借入金	835	785
退職給付引当金	123	86
役員退職慰労引当金	443	415
資産除去債務	84	85
その他	2,159	2,222
固定負債合計	3,646	3,595
負債合計	29,038	29,058
純資産の部		
株主資本		
資本金	3,702	3,702
資本剰余金	2,702	2,702
利益剰余金	12,639	12,221
自己株式	△39	△39
株主資本合計	19,004	18,585
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	1,928	1,992
繰延ヘッジ損益	△0	△0
為替換算調整勘定	△528	△489
その他の包括利益累計額合計	1,399	1,502
少数株主持分	755	749
純資産合計	21,159	20,838
負債純資産合計	50,198	49,897

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
 (四半期連結損益計算書)
 (第1四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成25年4月1日 至平成25年6月30日)
売上高	13,383	13,526
売上原価	11,462	11,446
売上総利益	1,920	2,080
販売費及び一般管理費	2,303	2,353
営業損失(△)	△383	△273
営業外収益		
受取利息	3	1
受取配当金	54	61
持分法による投資利益	—	23
その他	106	81
営業外収益合計	164	167
営業外費用		
支払利息	16	18
持分法による投資損失	27	—
その他	37	14
営業外費用合計	80	33
経常損失(△)	△299	△138
特別利益		
固定資産売却益	—	1
投資有価証券売却益	0	—
特別利益合計	0	1
特別損失		
固定資産売却損	—	0
固定資産除却損	—	2
投資有価証券評価損	90	—
その他	0	—
特別損失合計	90	2
税金等調整前四半期純損失(△)	△390	△139
法人税等	167	112
少数株主損益調整前四半期純損失(△)	△557	△252
少数株主利益	58	0
四半期純損失(△)	△616	△252

(四半期連結包括利益計算書)
(第1四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成25年4月1日 至平成25年6月30日)
少数株主損益調整前四半期純損失(△)	△557	△252
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△262	62
繰延ヘッジ損益	△0	△0
為替換算調整勘定	113	38
持分法適用会社に対する持分相当額	△5	1
その他の包括利益合計	△154	102
四半期包括利益	△711	△149
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	△771	△149
少数株主に係る四半期包括利益	59	△0

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

Ⅱ 前第1四半期連結累計期間（自平成24年4月1日 至平成24年6月30日）

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：百万円)

	報告セグメント							その他 (注)	合計
	化学品関連 事業	情報システ ム関連事業	エネルギー 関連事業	空調設備工 事関連事業	樹脂・エレ クトロニク ス関連事業	住宅設備機 器関連事業	計		
売上高									
外部顧客への売上高	7,355	1,057	1,490	1,984	445	1,024	13,358	24	13,383
セグメント間の内部 売上高又は振替高	0	63	72	7	0	79	223	156	379
計	7,356	1,120	1,562	1,991	446	1,104	13,582	180	13,762
セグメント利益又は損 失(△)	379	△77	83	△2	△68	△361	△46	30	△15

(注) 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、主にマンション・ビル等の保安全管理の事業であります。

2. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容（差異調整に関する事項）

(単位：百万円)

利益	金額
報告セグメント計	△46
「その他」の区分の利益	30
セグメント間取引消去	15
全社費用(注)	△382
四半期連結損益計算書の営業損失(△)	△383

(注) 全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

Ⅱ 当第1四半期連結累計期間（自平成25年4月1日 至平成25年6月30日）

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

（単位：百万円）

	報告セグメント							その他 (注)	合計
	化学品関連 事業	情報システム 関連事業	空調設備工 事関連事業	エネルギー 関連事業	樹脂・エレ クトロニク ス関連事業	住宅設備機 器関連事業	計		
売上高									
外部顧客への売上高	7,221	1,307	1,285	1,572	796	1,315	13,498	27	13,526
セグメント間の内部 売上高又は振替高	0	53	9	69	—	53	186	171	358
計	7,222	1,360	1,294	1,641	796	1,369	13,684	199	13,884
セグメント利益又は損 失（△）	224	△68	△104	92	39	△172	11	43	54

（注）「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、主にマンション・ビル等の保全管理の事業であります。

2. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容（差異調整に関する事項）

（単位：百万円）

利益	金額
報告セグメント計	11
「その他」の区分の利益	43
セグメント間取引消去	60
全社費用（注）	△388
四半期連結損益計算書の営業損失（△）	△273

（注）全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

5. 補足情報

(1) 受注及び販売の状況

①受注実績

(単位：百万円)

セグメントの状況	当第1四半期連結累計期間 (自 平成25年4月1日 至 平成25年6月30日)		当第1四半期連結会計期間末 (平成25年6月30日)	
	受注高	前年同期比 (%)	受注残高	前年同期比 (%)
情報システム関連事業	2,036	143.7	5,845	155.1
空調設備工事関連事業	2,028	114.3	6,286	91.6
住宅設備機器関連事業	2,579	110.6	9,223	118.0

(注) 1. 受注実績の金額には、セグメント間の内部受注高および受注残高を含めて記載しております。

2. 上記金額には、消費税等は含まれておりません。

②販売実績

(単位：百万円)

セグメントの状況	当第1四半期連結累計期間 (自平成25年4月1日 至平成25年6月30日)	
	売上高	前年同期比 (%)
化学品関連事業	7,222	98.2
情報システム関連事業	1,360	121.4
空調設備工事関連事業	1,294	65.0
エネルギー関連事業	1,641	105.1
樹脂・エレクトロニクス関連事業	796	178.3
住宅設備機器関連事業	1,369	124.1
その他	199	110.7
合計	13,884	100.9

(注) 1. 販売実績の金額には、セグメント間の内部売上高を含めて記載しております。

2. 上記金額には、消費税等は含まれておりません。